

表4 館外個人貸出利用者数 (昭和54 4～55 3)

区 分	人 員	構 成 比
1 勤 め 人	4,222	15.1%
2 自 家 営 業	627	2.2
3 主 婦	2,822	10.1
4 無 職 その他	1,572	5.6
5 学 生・生 徒	6,168	22.1
6 家 族 券	227	0.8
7 児 童	12,339	44.1
計	27,977	100

表5 館内利用図書冊数 (昭和54 4～55 3)

区 分	冊 数	構 成 比
郷 土 資 料	5,154	16.7
一 般 資 料	11,181	36.3
新 聞 雑 誌	4,208	13.6
特 許 公 報	10,282	33.4
計	30,825	100

表7 記録された参考質問の分析

(昭和54 4～55 3)

種 別 職業別	主 題 に 関 す る 分 析													質 問 形 式 に よ る 分 析		
	郷 土	総 記	思 想	歴 史・ 地誌	社 会 学	自 然 学	工 学 工 業	産 業	芸 術	語 学	文 学	新 聞 雑 誌	計 ( 件)	口 頭	電 話	文 書
官庁 会社員	231	11	16	38	71	28	21	25	16	17	38	41	553	202	205	146
商 工 業	18	1	2	3	19	2	6	9	7	2	2	5	76	56	16	4
自 由 業	26	1	3	3	3	1	2	1	1		2	3	46	12	9	25
主 婦	22	3	1	8	15	9	3	4	4	10	11	3	93	55	30	8
学 生・生 徒	52	2	7	15	16	10	8	7	4	8	14	29	172	128	16	28
無 職 その他	40	2	2	4	3			1	2	1	1	6	62	12	9	41
計	389	20	31	71	127	50	40	47	34	38	68	87	1,002	465	285	252

表6 館内利用者数 (昭和54 4～55 3)

区 分	人 員	構 成 比
調 査 相 談 室	5,039	76.1%
公 開 図 書 室	1,584	23.9
計	6,623	100

開館日数 273日  
一日平均利用者数 24.3人

口頭、電話、文書の三つの質問形式では、直接来館しての口頭による質問がもっとも多く46.4%を占める。次いで電話によるもの28.4%、文書によるもの25.1%という結果である。

文書によるものが割合としては低いものの、口頭、電話によるものが、前年度と比較していずれも減少しているのに、文書によるものだけが20.6%増加している。文書によるものは調査依頼の内容が高度なものが多く、それだけに回答事務も相当の困難をとまう。〔表7〕